

2025年7月6日
7月第一主日礼拝式／聖餐式



「わたしたちのこの口は」

わたしたちのこの口は 汚れているけど
どうか主がこれをきよめて
賛美を授^(さず)けてください

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

あなたのその御名は いつまでもたたえられましょう
私も主を慕^(した)いながら
心ささげて たたえます

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

(主の栄光だけが 光り輝くように)

19 ホザナ

1. ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
ホザナ ホザナ ホザナ たからかに
主よあなたの み名あがめます
さんびにみたされて ホザナたからかに

2. ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ホザナ ホザナ ホザナ 主のみ名を
ほめたたえよう ころろみたされ
さんびにみちあふれ ホザナ主のみ名を

新聖歌11番 「ほめたたえよ 造り主を」

- 1 ほめたたえよ 造り主を 聖きみまえに ひれ伏し
ささげまつれ 身をも魂(たま)をも
たぐいなき 御名をあがめて
- 2 くすしきかな 神の力 荒ぶる波を 静めて
あやうきより み民をまもり
この世の悩みに 勝たしむ
- 3 恵みの神 栄えの主を もろ声あげて たたえよ
強き手もて 導きたもう
主にのみ みさかえ 尽きざれ

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌70番 「朝日は昇りて」

- 1 朝日は昇りて 世(よ)を照らせり 暗きに住む人
来たり仰げ 知恵に富みたる主 世にいでたり
さとりなき人は 来たり学べ
- 2 力に満つる主 世にのぞめり か弱き人びと
来たりたのめ 安きをたまう主 世にくだれり
苦しめる人は 来たり受けよ
- 3 救いを賜(たま)う主 世に生まれぬ すべての人びと
来たり祝え 天地(あめつち)しらす主 世にあらわる
よろずのもの皆 どよみ歌え

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン